



## 農家の支え手を育成する拠点が誕生！ ～ 練馬区農の学校の開校式を開催～

と き 3月14日(土) 午前10時～午前10時30分

と ころ 練馬区農の学校(高松1-35-2)

14日(土) 農家の支え手となる人材を育成する拠点「練馬区農の学校」(高松1丁目)の開校式が開催され、子どもを含む受講生41人が参加した。

この日は、開校記念として「練馬区農の学校」の看板掛けと、前川耀男練馬区長および受講生によるクリの木の植樹があり、土かけ・水やりを行った。

開校式で前川区長は、「農の学校で学んだ農業に関する技術や知識を力にして、練馬の農を皆様で支えてほしい。」と述べ、農の学校に対する意気込みを受講生に語った。

農の学校では、区内農家の支え手となる人材の育成に加え、練馬区独自の取組として、初級・中級コースの修了生と支え手を必要とする区内農家とのマッチングを行う。

平成27年度は「農とのふれあい・体験コース(春夏)」・「初級コース(春夏)」・「中級コース」の3コースで構成し、受講生が農業を学ぶ。受講生の青木由喜子さん(女性62歳・中級コース)は「練馬はみどりに恵まれた環境で、東京にいながらにして田舎暮らしができる。農業は奥が深いから、農の学校で農業の基礎や農業に関する技術を学び、将来は職としてもやってみたい。」と話してくれた。



【開校式の様子】



【看板掛けの様子】

### 【農の学校の特徴】

「農とのふれあい・体験コース」は、子どもを含む家族が対象。野菜の作付けや収穫体験を通じて、農とふれあう楽しさを学ぶことができる。

「初級コース」・「中級コース」の受講では、農家の支え手として必要となる技術を学ぶ。修了後は、「ねりま農サポーター」の認定が受けられる。

農の学校では、区内農家とねりま農サポーターのマッチングや仲介等のコーディネートを行い、ねりま農サポーターの活躍の場を創出する。



【開校記念植樹の様子】

### 【次回の募集】

6月頃に「農とのふれあい・体験コース(秋冬)」・「初級コース(秋冬)」の募集(練馬区民対象)を予定している。

### 【今後の展開】

農の学校では、中級者コースや上級者コースの設置も検討している。農家の支え手として、より高度な技術を習得できるよう準備を進めている。